

てくてく ウォーク 95

大門 ハイキング コース*

その1



▶距離: 約3km
▶時間: 約1.5時間

北大門城跡



南大門城跡



北大門城跡と南大門城跡

北大門城は、小野崎氏系の助川氏が城主であり、佐竹氏15代義治・16代義興が居城したこともあったと伝えられています。南大門城は1467～1497年頃に築城され、根本氏が居城したとか。根本氏は山入の乱で佐竹氏と対立し、滅亡。以後、南大門城は北大門城の出城的存在になったようです。



ウラジロ

正月のお飾りにも使われるウラジロ。沖縄では3mにも及びます！



ハルノボシ

タンポポのようすがヨーロッパ原産のハルノボシ。

今回は、市街地から北へ約6kmの山間に位置する大門地区を歩きます。源氏川の流れることでも知られているこの地区は、南から下大門町、下大門町二、上大門町一、上大門町二と4つのエリアに分かれています。うち北部3エリアは、一本道でつながっている上、昭和54年に誉田小学校に統合されるまで同じ旧上大門小学校の学区でした。そのため地理的にも歴史的にもつながりの深い地域となっています。今回の「大門ハイキングコースその1」では、下大門町二のエリアを中心に紹介。現在でも地元で信仰されている天満宮や、佐竹氏と関連のある城跡など、歴史を感じる見どころが多くあるコースです。ぜひこの機会に歩いてみてください。

案内してくれた
地元のみなさん



じょうりりんかんのん
① 如意輪観音・地藏像

天満宮に入る道沿いに如意輪観音と地藏像があります。如意輪観音は、智慧、財福、福徳授与、安産、延命のご利益があるとされています。

てんまんぐう
② 天満宮

文道・学問成徳の神である菅原道真を祭っています。南大門城に居城していた根本氏が、守護神仏として天神立像と菅原坐像を祭ったのが始まりと伝承。

③ お休み場

馬場八幡宮の祭礼(神幸祭)で上大門方面への御幸が行われた際のお休み場だとされています。サクラとシラカシの木、地藏像、神輿を置いたとされる小山が。



④ 石仏群

江戸時代から大正時代に建立されたと見られる二十三夜塔や地藏像、如意輪観音、馬の守護神である馬力神などが確認できます。

じょういざせう
⑤ 如来坐像・地藏像

大きな石の上に如来坐像石仏が鎮座。塔の石の中には、地藏像とお坊さんのものと思われる墓石が、昔、付近にお寺があったと伝承されていますが、詳細は不明です。